

第4版（R3.6）

香川県建設業BCP

かがわ防災 Web ポータル内のハザードマップを使った

自社ハザードマップ作成の手引き

目次

かがわ防災 Web ポータル内のハザードマップの操作

- | | | |
|----|------|---|
| 01 | ログイン | 1 |
| 02 | 操作 | 2 |

自社ハザードマップの作成

- | | | |
|----|---------------|---|
| 03 | 対応拠点ハザードマップ | 3 |
| 04 | 代替連絡拠点ハザードマップ | 5 |
| 05 | 社員ハザードマップ | 6 |
| 06 | 協力会社ハザードマップ | 8 |
| 07 | 自社ハザードマップ | 8 |

自社ハザードマップの活用・更新

- | | | |
|----|---------------|---|
| 08 | 自社ハザードマップの活用等 | 9 |
|----|---------------|---|

使用図の加工方法

- | | | |
|----|-----------|----|
| 09 | GIS画像のコピー | 10 |
|----|-----------|----|

令和2年4月より旧かがわ防災GISが新システム移行したことに伴い、自社ハザードマップの手引き及び作成例を新システム（かがわ防災 Web ポータル内のハザードマップ）版に更新しています。

香川県建設業BCP認定制度に新規申請される建設会社は、新システムでの自社ハザードマップの作成をお願いします。新システムでは、浸水深30cm到達時間予測図（最大クラス）が新たに追加されていますが、ため池ハザードマップは新システムで反映されていません。新システムにないハザードについては、県や各市町で発表している最新のハザードマップをコピーして使用してください。

なお、更新申込される建設会社は、新設路線等の開通や公表されているハザードマップの更新がなければ、自社ハザードマップを新システムにて再度作成する必要はありません。

（※ただし、二級河川浸水想定区域図の最新版は旧かがわ防災GISに反映されていなかったため、ハザードマップの新システムでの更新が必要です。）

01 ログイン

かがわ防災Webポータル内のハザードマップのページには、香川県のホームページからログインします。または、 <https://www.bousai-kagawa.jp/>を入力してログインします。なお、**ログインの際は必ず「Google Chrome」**で行ってください。他のブラウザでページを開くと画面の動作が著しく低下します。



操作

1. 香川県ホームページのトップ画面にある「かがわ防災Webポータル」をクリックします。



2. 「かがわ防災Webポータル」のページが表示されます。

かがわ防災Webポータル内のハザードマップの操作

02 操作



1. かがわ防災Webポータルの画面の「ハザード」をクリックします。

●「ハザードマップ」のページが表示されます。右側には各機関のハザードマップへのリンク情報が掲載されています。



2. 「ハザード地図を拡大して見る」をクリックします。

●全画面表示で作業ができます。



3. 左上のレイヤー一覧(レイヤー or) から、必要な地図種類を選びます。

●ため池のハザードマップは、「1」で示した各機関のハザードマップのリンクから図面を収集してください。

03

対応拠点ハザードマップ

対応拠点ハザードマップを作成します。(エクセルのテンプレートがあります。)

対応拠点ハザードマップ		
名称	本社	高松市番町四丁目 H7.11建築
近傍の避難所	①高松高等学校(体育館)	高松市番町三丁目1-1
	②集島小学校	高松市集島町10-1
○震度分布図(最大クラスの地震)		① ②
		ハザード ④ 震度6弱
<p>コメント</p> <p>⑤ 本社は震度6弱だがすぐ西側は震度6強である。</p>		

- ① 対応拠点の名称、住所、建築年月等を記載します。
- ② かがわ防災Webポータルハザード内のマップで、対応拠点近傍の避難所を2箇所程度確認し、名称と住所を記載します。
- ③ かがわ防災Webポータル内のハザードマップから図と凡例をコピーし（コピー方法についてはp. 10、11 参照）、対応拠点の位置を記載します。
- ④ 対応拠点の位置でのハザードを記載します。
- ⑤ 対応拠点周辺の被災予想を記載します。(参集ルート等を考慮)

ポイント

- ・ 対応拠点や周辺の状況の考察は、「A-1 受ける被害の想定」や参集ルートの検討の参考にしてください。



操作手順

- レイヤー一覧から、避難所にチェックをいれます。次に、マウスをドラッグ、スクロールして適当な縮尺にします。

●対応拠点を中心に幹線道路や各ハザードが入る程度の縮尺が最も適当です。



- 対応拠点の近傍の避難所をクリックすると避難所の情報が表示されます。

(これをもとに前ページ②の近傍の避難所情報を記載して下さい。)



- 「避難所」のチェックをはずし、左上のレイヤー一覧から各ハザードのレイヤを表示します。

●震度分布図と液状化危険度予測図のレイヤは「最大クラスの地震」を選択してください。洪水浸水想定は「想定最大規模」を選択してください。

自社ハザードマップの作成

04

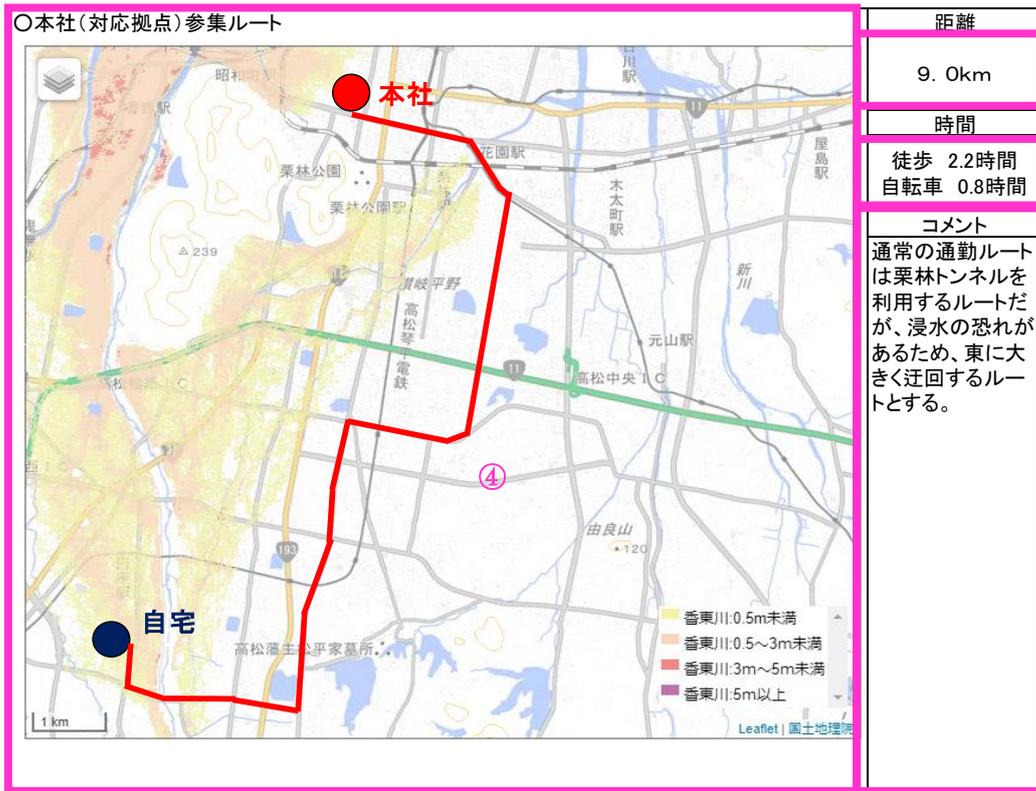
代替連絡拠点ハザードマップ

対応拠点ハザードマップと同様に、代替連絡拠点ハザードマップを作成します。

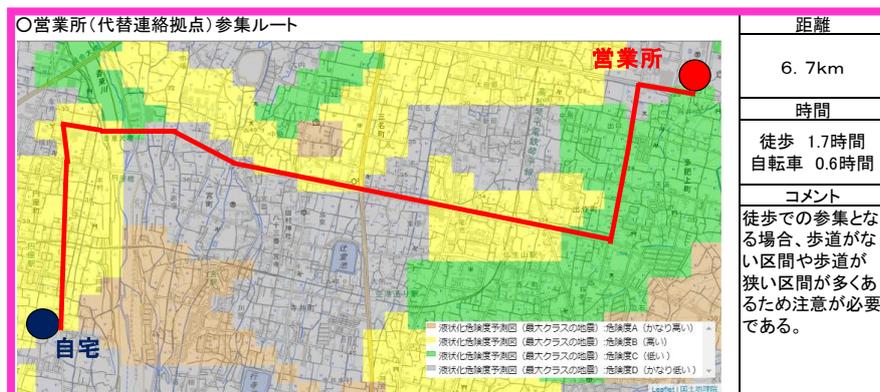
社員ハザードマップを作成します。

社員Aハザードマップ			
氏名	〇〇 〇〇	高松市円座町	H23.11建築
近傍の避難所	①円座小学校	高松市円座町1630-2	
	②円座コミュニティセンター	高松市円座町1662-1	
○震度分布図(最大クラスの地震)			
ハザード : 震度6弱			
コメント : 自宅周辺も震度6弱			
○液状化危険度予測図(最大クラスの地震)			
ハザード : 危険度C(低い)			
コメント : 自宅のすぐ北側や南西は危険度B(高い)であり、東側の香東川沿いは危険度A(かなり高い)である。			
○津波浸水想定(最大クラスの地震)			
ハザード : なし			
コメント :			
○浸水深30cm到達時間予測図(最大クラス)			
ハザード : なし			
コメント :			
○土砂災害			
ハザード : なし			
コメント :			
○ため池浸水想定区域			
ハザード : なし			
コメント :			
○香東川浸水想定区域			
ハザード : 自宅浸水の恐れがある。			
コメント : 自宅周辺の香東川の東西は3.0m未満の浸水が想定される。			
○高潮浸水想定区域			
ハザード : なし			
コメント :			

- ① 社員の氏名、住所、自宅の建築年月等を記載します。
- ② かがわ防災Webポータル内のハザードマップで自宅近傍の避難所を2箇所程度確認し、その名称と住所を記載します。
- ③ かがわ防災Webポータル内のハザードマップを使用して自宅周辺のハザードを確認し、自宅の位置でのハザード及び自宅周辺の被災予想を記載します。(参集ルート等を考慮)



- ④ かがわ防災Webポータル内のハザードマップから図と凡例をコピーし、自宅と対応拠点の位置および参集ルートを記載します。ハザードのレイヤは、参集ルート決定の基礎となったものにします。なお、参集ルート図の作成には、自宅から拠点（代替拠点）までのルートに関連するハザードを全て確認し、関連するハザードに対して参集ルート図を作成してください。
- ⑤ 自宅から対応拠点までの距離を記載します。
- ⑥ 徒歩と自転車での参集時間を記載します。
- ⑦ 参集ルートの選定にあたって考慮したこと、または参集ルートで注意が必要な箇所等を、近傍のハザード情報をもとに記載します。



- ⑧ 対応拠点と同様に記載します。

ポイント

- ・ B C P 担当者は必ず社員と一緒にかがわ防災 W e b ポータル内のハザードマップを確認しながら作成してください。
- ・ 作成した社員ハザードマップは、社員本人に渡してください。社員は家族とハザードマップを共有するようにしてください。

自社ハザードマップの作成

06

協力会社ハザードマップ

社員ハザードマップと同様に、資材調達ルートを作成します。

自社ハザードマップの作成

07

自社ハザードマップ

対応拠点、代替連絡拠点、資材置場や倉庫等の自社関連施設、社員自宅、協力会社、社員参集ルート、資材調達ルート、工事現場等を記載した自社ハザードマップを作成します。

08

自社ハザードマップの活用等

- 作成した社員参集ルートで参集訓練を行い参集時間やルートを見直すとともに、道路の狭窄部やアンダーパスなど、参集時に注意する箇所を確認してください。
- ハザードマップが更新された場合は、自社ハザードマップも随時更新してください。
- 道路の開通や改良があった場合は、参集ルートや資材調達ルートを見直してください。
- かがわ防災Webポータル内のハザードマップは災害時に開設中の避難所、被害情報、道路通行規制を表示しますので活用してください。
- 香川県建設業BCP認定審査の申請は、原則、かがわ防災Webポータル内のハザードマップで作成したものに限り、申請時の図面の添付は次の表を参考にしてください。

図 面	添付
対応拠点ハザードマップ	○
代替連絡拠点ハザードマップ	○
社員ハザードマップ	△
協力会社ハザードマップ	×
自社ハザードマップ	○

○：添付する。

△：1、2名分のみ添付

×：添付の必要なし

- かがわ防災Webポータル内のハザードマップは国土地理院地図を使用しているため、申込書には「本申請で使用しているかがわ防災Webポータル内のハザードマップよる画像は背景地図に地理院タイルを使用しています。」と記載してください。

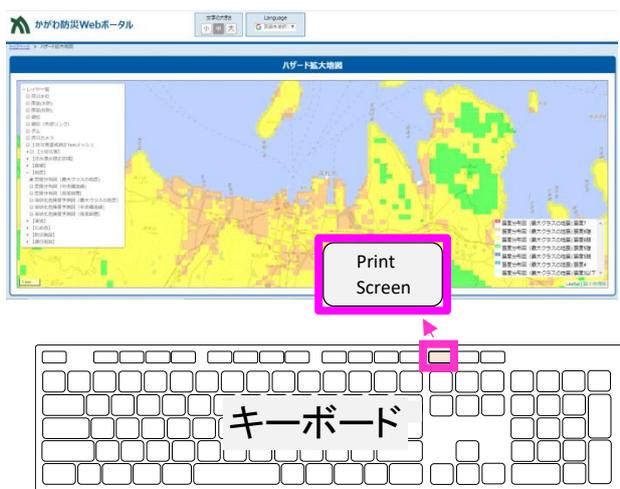
使用図の加工方法

09

GIS画像のコピー

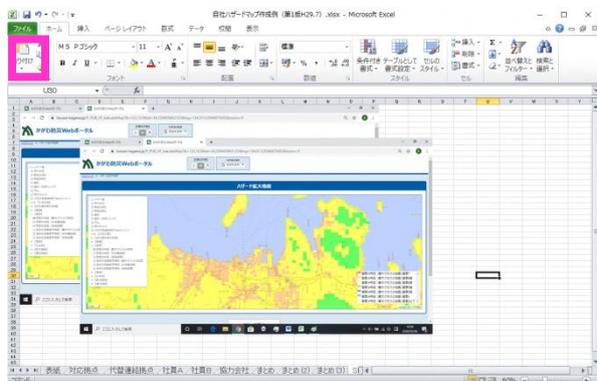
- かがわ防災Webポータル内のハザードマップの図、凡例のコピー方法の一例について説明します。

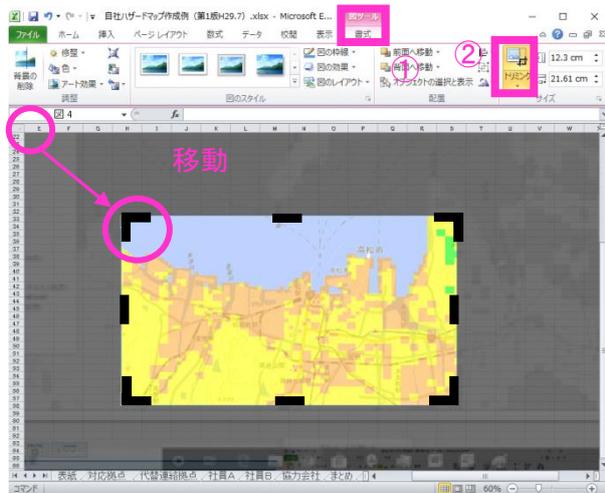
<例1>



操作

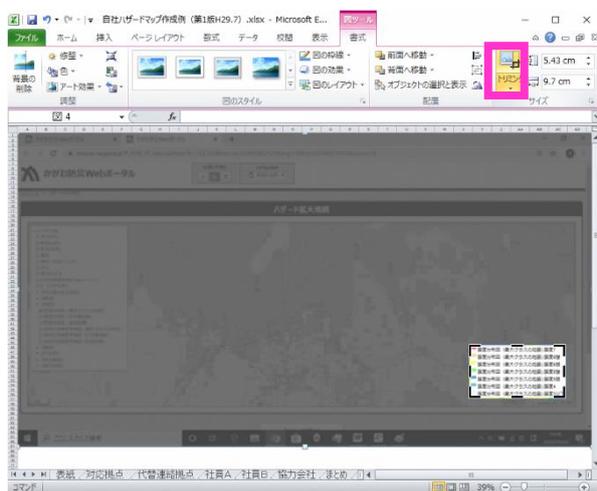
1. かがわ防災Webポータル内のハザードマップでコピーしたい画面を表示させ、画面のコピーを取ります（プリントスクリーンを押下）。
 - かがわ防災Webポータル内のハザードマップの印刷機能では凡例がコピーできませんので、プリントスクリーンを使います。
2. エクセルにプリントスクリーンした画像を貼付けます。



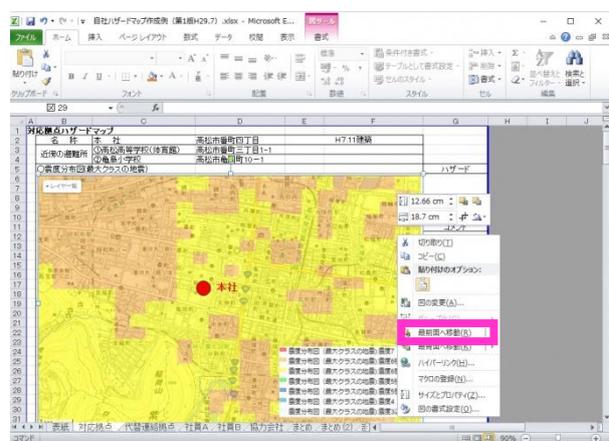


3. 使用する図を作成します。貼付けた画像のうち1枚を、図ツール(①)のトリミング(②)を使用して必要範囲を切り出します。

- 四隅のカッコ **┐** をドラッグして移動させると必要範囲が変更できます。決定後、シート内の余白をクリックするとトリミングが完成します。



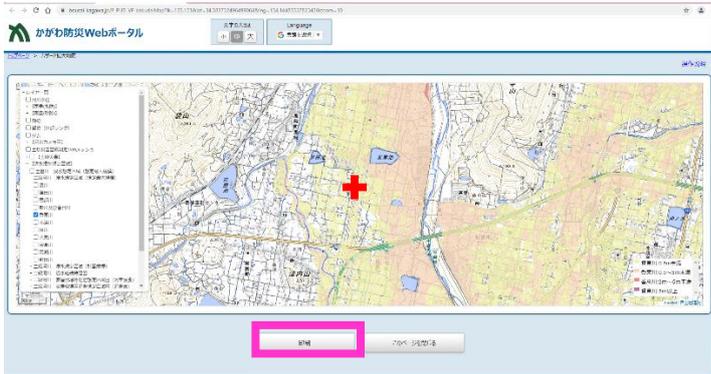
4. 使用する凡例を作成します。加工していない貼付画像を使用して、図と同じように、必要範囲をトリミングします。



5. トリミングした図と凡例を重ねて、様式に挿入(貼り付け)して完成です。

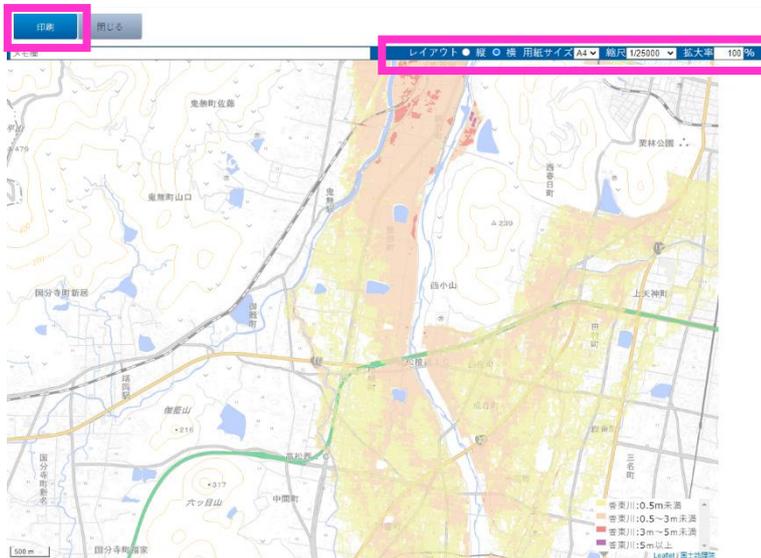
- 図面の重なりについては、凡例を「最前面へ移動」してください。

<例 2>



操 作

1. かがわ防災Webポータル内のハザードマップの中心に、表示したい範囲の中心がくるように移動させ、印刷ボタンを押します。

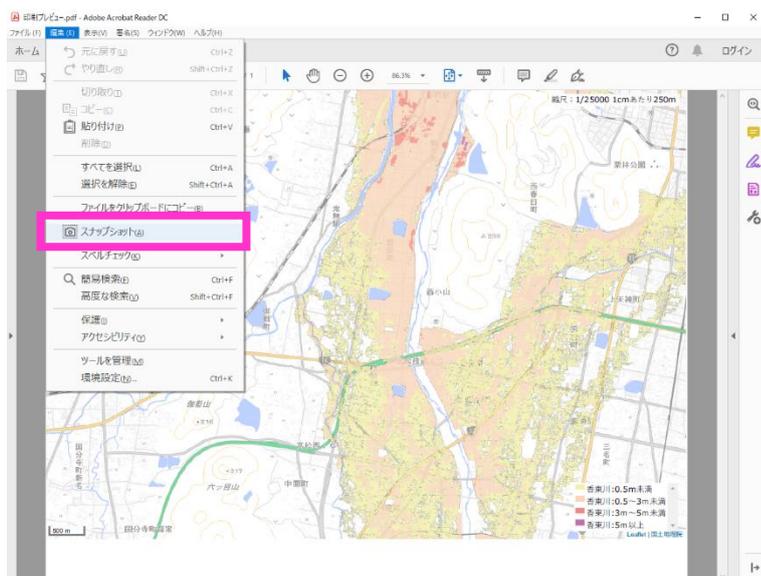


2. 左図のような印刷範囲が表示されます。

印刷向き（縦、横）、用紙サイズ（A0～A4）、縮尺（1/2, 500～1/500,000）、拡大率（100%以上250%未満）を各種選択し、適当な縮尺、印刷範囲にします。範囲が決まれば、左上の印刷ボタンを押します。



pdf データ等で保存します。



3. 保存した pdf データを開き、編集タブからスナップショットを選択します。

コピーしたい範囲をドラッグして囲いコピーします。

その後の作業は「例 1」の 2 以降の作業と同じです。